



—活動報告—

中東情勢講演会： シリアと米国：イスラーム国に対する「テロとの戦い」をめぐる友好的敵対
(青山弘之東京外国語大学教授)

10月15日(14:00-15:30)、フォーリン・プレスセンター「会見室」にて、下記のとおり中東情勢講演会を開催しました。

講師：青山 弘之(東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授)

演題：シリアと米国：イスラーム国に対する「テロとの戦い」をめぐる友好的敵対



9月23日に米国主導のもとに開始されたシリア空爆は、イラクで勢力を拡大するイスラーム国に対する「テロとの戦い」だけでなく、「アラブの春」に端を発するシリアでの紛争に新たな局面をもたらしました。青山教授は、この新局面の実態をシリアと米国の関係を中心に分析し、シリアと米国との関係は表面的な敵対関係にも拘らず実際には深部で両者の利益が一致し、行動の調整ができていると説明されました。そして、青山教授はこうした両国の関係を友好的敵対/敵対的友好と評しました。



会場からは、イスラーム国への対処とシリア紛争に関するロシアやイランの意図などについて質問がありました。

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799